

## 測定用語解説（性能、精度に関するもの）

適用する形体	幾何公差の種類	記号	定義
単独形体  単独形体または 関連形体	形状公差	1. 真直度公差	 直線形体の幾何学的に正しい直線からのひらきの許容値。
		2. 平面度公差	 平面形体の幾何学的に正しい平面からのひらきの許容値。
		3. 真円度公差	 円形体の幾何学的に正しい円からのひらきの許容値。
		4. 円筒度公差	 円筒形体の幾何学的に正しい円筒からのひらきの許容値。
	5. 線の輪郭度公差	 理論的に正確な寸法によって定められた幾何学的輪郭からの線の輪郭のひらきの許容値。	
	6. 面の輪郭度公差	 理論的に正確な寸法によって定められた幾何学的輪郭からの面の輪郭のひらきの許容値。	
関連形体	姿勢公差	7. 平行度公差	 データム（注）直線またはデータム平面に対して平行な幾何学的直線または幾何学的平面からの平行であるべき直線形体または平面形体のひらきの許容値。
		8. 直角度公差	 データム直線またはデータム平面に対して直角な幾何学的直線または幾何学的平面からの直角であるべき直線形体または平面形体のひらきの許容値。
		9. 傾斜度公差	 データム直線またはデータム平面に対して理論的に正確な角度をもつ幾何学的直線または幾何学的平面からの理論的な正確な角度をもつべき直線形体または平面形体のひらきの許容値。
	位置公差	10. 位置度公差	 データムまたは他の形体に関連して定められた理論的に正確な位置からの点、直線形体、または平面形体のひらきの許容値。
		11. 同軸度公差または 同心度公差	 同軸度公差は、データム軸直線と同一直線上にあるべき軸線のデータム軸直線からのひらきの許容値。また、同心度公差は、データム円の中心に対する他の円形体の中心の位置のひらきの許容値。
	振れ公差	12. 対称度公差	 データム軸直線またはデータム中心平面に関して互いに対称であるべき形体の対称位置からのひらきの許容値。
		13. 円周振れ公差	 データム軸直線を軸とする回転体をデータム軸直線のまわりに回転したとき、その表面が指定された位置または任意の位置において指定された方向に変位する許容値。
		14. 全振れ公差	 データム軸直線を軸とする回転体をデータム軸直線のまわりに回転したとき、その表面が指定された方向に変位する許容値。

(注) データム：形体の姿勢公差、位置公差、振れなどを決めるために設定した理論的に正確な幾何学的基準（関連形体の場合に必要）

真直度	正しい直線（基準線）からの狂いの大きさ（誤差）をいう
平面度	正しい平面（基準面）からの狂いの大きさ（誤差）をいう
真円度	正しい円（基準円）からの狂いの大きさ（誤差）をいう
円筒度	正しい円筒（基準円筒）からの狂いの大きさ（誤差）をいう
平行度	基準平面からの平行であるべき直線又は平面の狂いの大きさ（誤差）をいう
直角度	基準平面に対して直角であるべき直線又は平面の狂いの大きさ（誤差）をいう
傾斜度	基準直線又は基準平面に対し正確な角度を持つ直線又は平面の狂いの大きさ（誤差）をいう
位置度	基準位置点に対し直線形体又は平面形体の狂いの大きさ（誤差）をいう
同軸度	基準同一直線上の軸線に対する軸線の狂いの大きさ（誤差）をいう
円周振れ	基準の垂直な円形平面の周りを回転した時変位（誤差）する大きさ（誤差）をいう
全振れ	基準の垂直な円形平面の周りを回転した時の表面変位（変形）の大きさ（誤差）をいう